

福島から始める新しい銅電線リサイクルのかたち

くるりんこは【きずなループ事業】を推進します

3,11 を境に、私たちの価値観が大きく変化しています。中でも環境は重要なテーマとして考えられ、特にエコに対する意識とリサイクルに関する取組みは、国民一人一人にとって身近なものになりました。

これまで日本国内で利用されず輸出されてしまっていた廃電線を、仕事の不足に悩む障がい者施設の安定的な仕事にする【きずなループ事業】の仕組みはそうした中から生まれました。これによって、障がい者の方々の自立支援と、資源の国内リサイクルが促進される事が期待されます。

一般企業では事業採算性の確保が難しく、敬遠される廃電線リサイクルですが、銅は必要不可欠な資源のため「売れない」ということがないので、納期や時間の制約がありません。そのため自分たちのペースで仕事のできる障がい者施設の仕事として、優れた収入源となります。また、障がい者の方の中には類まれな集中力や、単調な作業にもめげない忍耐力をもった方々もおられ、廃電線リサイクルの電線剥離の仕事は、むしろ好ましい仕事ともいえるのです。



ぜひ【きずなループ事業】にご参加ください。

障がい者施設様

【きずなループ事業】にご興味を持たれた障がい者施設様、ぜひお気軽にご連絡ください。事務局の担当員が様々なご相談をさせていただきますので、安心して廃電線リサイクルを作業として導入していただくことができます。

一般企業様

【きずなループ事業】では、リサイクルする廃電線を提供していただける一般企業様を募集しております。詳細は窓口担当員が丁寧にご案内させていただきます。一般企業様の積極的な参加が、地域の福祉環境に明るい光をもたらしますので、ご検討のほどよろしくお願いいたします。

きずなループ事業について、さらに詳しくお知りになりたい方は、きずなループ事業公式ホームページ <http://kizunaloop.com/> で検索

多くの企業様よりご協力をいただきありがとうございます。
感謝の気持ちをかたちにして、地域の福祉向上に役立ててまいります。

きずなループ事業は経済産業省平成25年度東日本大災害復興ソーシャルビジネス創出促進事業（ソーシャルビジネス新事業創出事業）採択事業です。



福島熱血エコ通信

くるりんこ

No.03

発行：NPO 法人 くるりんこ

【本部事務所】
〒966-0086 福島県喜多方市字西四ツ谷189番地
TEL:0241-21-9551 FAX:0241-21-9552
【郡山事務所】（きずなループ事業事務局）
〒963-8061 福島県郡山市富久山町福原字宝田46-1
TEL:0120-536-672 FAX:024-953-6769
【ステップボード】（障がい者福祉サービス事業所）
〒969-3537 福島県喜多方市塩川町四奈川字上川原2659番地
TEL:0241-23-7400 FAX:0241-23-7401

【きずなループ事業】にご協力いただいている有限会社永橋電器様よりうれしいお話をいただきました。

NPO 法人くるりんこ 副理事長 福島健一

●障がい者の自立と資源リサイクルを推進する【きずなループ事業】にご協力をいただけるようになりましたきっかけは？

昨年の夏頃【きずなループ事業】案内の冊子が送られて来たのがきっかけです。わかりやすく見やすい資料で内容がすんなりと理解できました。

当店はパナソニック特約店として、福島県南相馬市で電器店を営んでいるのですが、エアコンの取付け工事などで発生した廃電線の処分に手間がかかっていたこともあり、ちょうどいいと協力する事になりました。

●【きずなループ事業】に対するご意見がありましたらお願いします。

一般家庭や事業所様をお得意様にして販売や取り付けをさせていただいておりますので、そんなに大量の廃電線が出るわけではないのですが、それでも処分は専門の業者に売ったり事業所に持って行ったりと、ガソリン代や時間をかけて処理していました。

一時は自分で廃電線の剥離を手作業でしていた時もあるのですが、なんにしても廃電線の処理は厄介でした。

【きずなループ事業】への協力では、届けられた●●に廃電線を入れておくだけで、たまったら勝手に持って行ってくれるし、期限や量の制約もない。さらになによりも、それが世の中のためになっているという事

で廃電線を出す方も受け取る方もお互いにいい事ですね。

障がい者の自立支援がひとつの目的の事業と理解していますが、廃電線を処分してもらえるのは、正直のところありがたいと思っています。

この【きずなループ事業】に賛同する事で、障がい者の環境と自然環境の改善にお役に立てるということは、日本が抱えている問題解決にも協力できるわけです。ですから機会あるごとに仕事仲間にも話すようにしています。今後もっとこの輪が広がるといいですね。

●【きずなループ事業】の今後の展開にご要望やご提案をお願いします。

突然案内の冊子が送られて来たので、対象や目的に対して少し疑問でしたが、東日本大震災と福島第一原発の事故で、福島県の障がい者の自立目的の仕事の減少を補う事を目的に、福島県とその近隣県の廃電線に関わる企業に案内を送ったことを知りました。

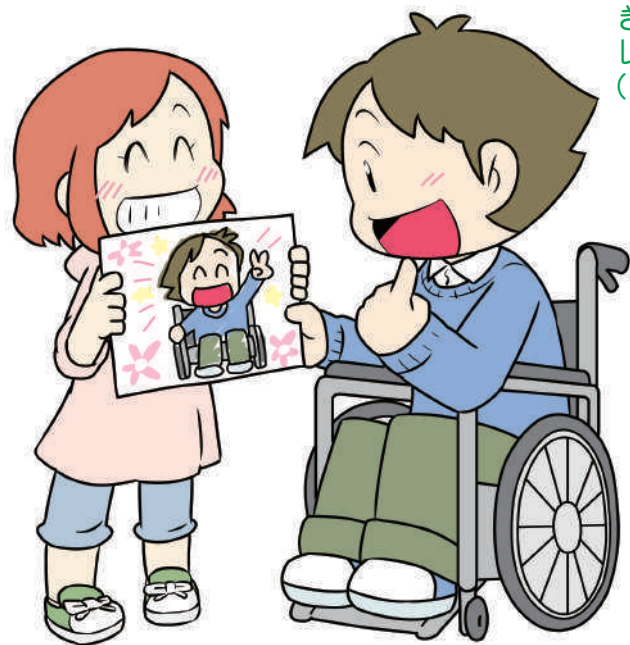
さらに、それらの案内書の封入や宛名張り作業も地元福島県の障がい者施設の仕事としてしているのにも感心しています。今後も積極的に協力したいと考えてます。

●街の電気店としてかゆいところに手が届くサービスと、常に同じスタッフがお伺いする安心感でお客様を大切にしている有限会社永橋電器様ありがとう ございました。



ヒロシ君の訪問日

きずなループ事業に参加してくださっている障がい者施設様への訪問レポートです。障がい福祉サービス事業「ドリームハウス富夢富夢（とむとむ）」さんに遊びにいってきました。（福島県喜多万市）



難しい仕事は苦手だけど

力 ナ：ヒロシ兄ちゃん、はい、プレゼント！

ヒロシ：ありがとう。おや、僕を描いてくれたんだね。

力 ナ：学校で「大好きなお友達を描きましょう」って、みんなで描いたんだよ。

ヒロシ：うれしいなー。とても上手だね。カナちゃんはお絵描きが得意なんだね。

力 ナ：うん。クレヨンのきれいな色って大好き！

ヒロシ：得意なことがあるっていいことだよ。今日遊びに伺った障がい福祉サービスの「ドリームハウス富夢富夢（とむとむ）」さんのお話でも、得意なことがあるって大切だと思った。

力 ナ：それっていつもヒロシ兄ちゃんがお話ししている、障がいのある人たちが通っているところだよ
ね。

ヒロシ：そう、いろいろな理由があってみんなと一緒にお仕事や生活するのが苦手な人たちが、頑張って生活できるように練習や勉強をする施設だよ。喜多方市の塩川町にあるんだ。

力 ナ：どんなお話を聞いてきたの？

ヒロシ:「富夢富夢さん」では地域の会社さんをお願いして、通ってくる障がい者の人たちができるような仕事をいただいて、みんなに指導しながら、自立できるようにお世話をしてるんだ。

力ナ：自立……？

ヒロシ：障がい者の人たちは、国から安心して生活できるようにと、障がい者年金をいただいているんだけど、一人で生活するには足りないの、富夢富夢さんのような施設で仕事をして賃金をいただかないと、一人では生活が難しいんだ。

力 ナ：どんなお仕事なの？

ヒロシ：外での仕事と部屋の中での仕事があるんだけど、外の仕事はみんな好きみたいだよ。例えば駐車場の掃除とかだね。でも外の仕事がいっぱいあるわけじゃないんで、部屋の中での商品のシール貼りとか、ふきんの袋詰めのような仕事をしてるんだよ。それと僕の通っている「くるりんこ」の【銅線剥離エコビジネス】の仕事もお手伝いしていただいているんだ。

力 ナ： いろんなお仕事をしてるんだね。すご〜い！

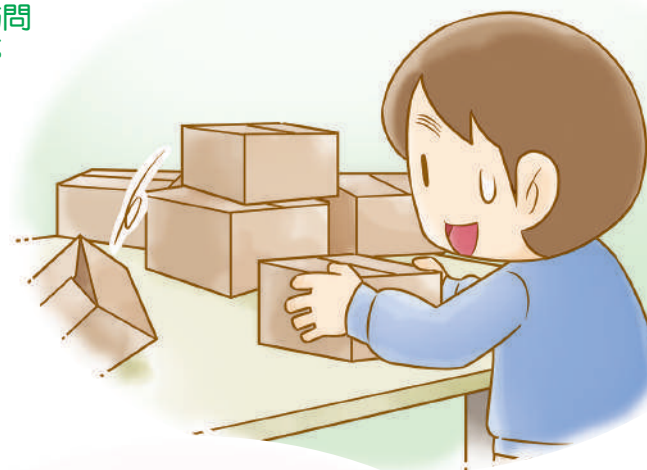
ヒロシ：そう、だから職員の方はね、みんなの得手不得手を考えた上で仕事の内容を吟味して割り振りするんだよ。

力 ナ：カナもお手伝いするとしたら、ちゃんとカナができることを選んでくれるんだね。

ヒロシ：そういうことなんだけど、そこでとても面白いことが起きるんだって、

力 ナ：え、なになに！

ヒロシ：職員の方は、みんなの一人一人の個性を大切に接しているんだけど、時として思わぬ発見をすることがあるらしい。例えば身体が大きくてしっかりしているから力持ちか



うまくできないこと
まだ多くあるけど

得意な仕事は誰よりも頑張る

なと思ったら、そうでなかったりすることもあるんだって。逆に、とても落ち着かないんで、お仕事は大丈夫なんだろうかと心配して見ていたら、モノを運ぶ仕事ではとても正確に長時間キチンと仕事をしたりと、得意な仕事にあたりとすばらしい力を発揮する、障がい者の人がいるんだって。そのように「ハまる仕事」に出会うと、障害を持っていない人よりすばらしい仕事をするとお話ししていたよ。

カ ナ：カナもお絵描き好きだから、ずーと止めないのと同じかな？でもそれでいつもお母さんに怒られちゃう……。

ヒロシ：まあ、そういうことになるかな？

力 ナ：じゃあ、お母さんの得意なことは怒ることなのかな……？いつも力ナのこと怒るよ。宿題したの？とか、ピーマン食べなさい…とか。

ヒロシ：ちょっとそれは違うかもしれないけどね。

力 ナ：得意じゃないんだったら怒らなければいいと思う。

ヒロシ：今回すごいと思って聞いた話しなんだけどね【銅線剥離エコビジネス】の仕事で、届けられたいろいろな種類の銅廃線をきちんと選り分けて、さらに一本一本を真直ぐに揃えるのがとても得意な人がいるんだって。それも楽しそうに張り切って仕事をするんですよって、職員の方が感心していたんだよ。どんな人にも得意なことやすばらしい力があるということだね。ただ、ちょっと見ただけではわからないから、わかるまで時間がかかったりすることもあるけどね。

力 ナ：そうだと、いっぱいお仕事できるからお給料も増えるね。

ヒロシ：その通りだね。でもいつも仕事が沢山あるわけではないから、多くの会社さんからの協力があるとうれしいんだよ。

カ ナ：ヒロシ兄ちゃんの通っている施設「くるりんこ」の【銅線剥離エコビジネス】のお仕事も、みんなのためになっているんだね。

ヒロシ：そうそう、カナちゃん。うれしいことにね、この「くるりんご通信」を見ていくつもの会社さんから廃電線の提供のお話が来るようになったんだよ。

力 ナ：わあ、よかったね。

ヒロシ：そうだね。福島県以外の会社さんからも廃電線を送るって連絡をいただいたり、これからも楽しみなんだよ。それに「富夢富夢さん」や他の障がい者施設の職員さんからは、あまり難しくなくて「いつまで」とか「どれだけ」とかの決まりもないので、いい仕事だって褒めていただいてるしね。

力 ナ：じゃあ、もっともっと多くの廃電線が集まるといいね。

ヒロシ：僕たち「くるりんこ」も、このような協力の輪を広げるために頑張っているから大丈夫だよ。

力 ナ：頑張ってるヒロシ兄ちゃんはカッコいいけど、一緒にお手伝いしてくれる会社もカッコいい会社だね。

ヒロシ：カナちゃん、いいこと言うね。

カ ナ：カッコいい会社、だ〜い好き！

